

第42回 R N B 杯アマゴルフ選手権大会

予 選 (グランドシニアの部、シニアの部、レディスの部、一般の部)
決 勝 (グランドシニアの部、シニアの部、レディスの部、一般の部)

令和7年10月15日(水)
令和7年10月16日(木)

大会役員

大会会長	大塚 岩男
大会副会長	関 啓三 大西 康司
大会実行委員長	渡部 剛士
大会競技委員長	井門 英夫
大会競技委員	吉田 則彦

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. クラブと球

(1) 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(2) 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

4. 競技終了時点

本競技は、競技委員長から最終成績が発表された時点をもって終了したものとみなす。

5. 練習

(1) ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習

規則5.2 b は次の通り修正する。

プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンド間に競技コースで練習してはならない。ただし、指定練習区域を

除く。このローカルルールの違反の罰：

最初の違反の罰：一般の罰（プレーヤーの最初のホールに適用される）。

2回目の違反の罰：失格

(2) ホールとホール間の練習（規則5.5 b）

規則5.5 b は次の通り修正する。

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。

・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

6. プレーの中断と再開の合図（規則5.7）

・差し迫った危険のための即時中断：本部より競技委員を通じ競技者に連絡する。

（又は、1回の長いサイレンを鳴らして通報する。）

・危険な状況ではない中断：本部より競技委員を通じ競技者に連絡する。

（又は、3回の連続する短いサイレンを鳴らして通報する。）

・プレーの再開：本部より競技委員を通じ競技者に連絡する。

（又は、2回の連続する短いサイレンを鳴らして通報する。）

注：危険な状況のためにプレーが中断された場合は、すべての練習区域も直ちに閉鎖される。

プレーヤーがこの閉鎖を無視して練習した場合は懲罰的な処置をとることになる。

7. 移動

ラウンド中、プレーヤーはいつでも動力付きの移動機器に乗車することができる。

8. キャディー

正規のラウンド中、レディスの部のみ競技者は委員会によって指定されたキャディー以外の者を使用することを禁止する。

また、その他の部門については、競技者は、ラウンド中、キャディーを使用してはならない。この条件の違反の罰は、違反のあった各ホールに対して

一般の罰（2罰打）とし、違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合には、次のホールで一般の罰（2罰打）を受ける。

9. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。

スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、

そしてすぐに戻らなければならない。

10. 競技方法、順位の決定

本競技は36ホールズストロークプレー（スクラッチ競技）とする。

Gシニアの部は金マーク、シニアの部は白マーク、レディスの部は赤マーク、一般の部は青マークを使用する事。

尚、順位決定は2位以下のスコアが同じの場合はマッチングスコアカード方式にて決定する。

11. プレーオフ

36ホール終了後、第1位が同打数の場合は、即日委員会の指定するホール（18番の繰り返し）にてホールバイホールによるプレーオフを行い優勝者を決定する。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

(1) アウトオブバウンズの境界は、白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

(2) アウトオブバウンズと定められた境界を挟んだどちらか一方からプレーされ、その境界を挟んだ反対側に止まった球はアウトオブバウンズである。そのことは球が他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まった場合にも当てはまる。

2. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）

(a) 修理地

(1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域

(2) 委員会が異常な損傷とみなした地面（例：観客や車両の動きによって生じた損傷区域）

(3) 張芝の継ぎ目；ローカルルールひな型F-7を適用する。

(4) フェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアにペイントされた線や点（ヤーデージマーキングなど）は規則 16. 1 に基づいて救済を受けることができる修理地として扱われる。そのペイントされた線や点がプレーヤーのスタンスに対してだけ障害となる場合、障害は存在していないものとして扱う。

(b) 動かさない障害物

(1) 白線の区域と動かさない障害物がつながれている場合、動かさない障害物と他の動かさない障害物が接している場合、また地面の損傷した区域がカート道路のすぐ隣にあるときに規則 16. 1 に基づいて救済を受ける場合、それらは一つの異常なグランド状態として扱われる。

(2) 排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある排水溝）。

(3) 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。

(4) フェアウェイセンターにある残り距離を示すペイントされた標示板。

(5) No.9 グリーン左奥バンカーの階段

3. 臨時的動かさない障害物

テレビ放送施設は臨時的動かさない障害物とする。左記施設の中または上に球が止まったり、あるいはスタンスまたは意図するスイングの区域の妨げとなる場合、次の救済エリアにドロップし、その救済エリアからプレーすることによって罰なしの救済を受けることができる。

基点：物理的な障害と介在の障害の両方からの障害がなくなる完全な救済のニヤレストポイント。

基点から計測する救済エリアのサイズ：基点から1クラブレンジ以内のすべての区域。しかし、次の制限がある

救済エリアの場所に関する制限：

ジェネラルエリアでなければならない。基点よりホールに近づいてはならない。そして、その臨時的動かさない障害物による物理的な障害と介在の障害の両方からの完全な救済とならなければならない。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングテント内及びハウス内掲示板に掲示して告示する。

2. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないよう注意すること。プレーの不当な遅延についてはペナルティを課すことがある。

3. コース内での携帯電話は委員会の許可なく使用することを禁止する。

4. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは、使用禁止とする。

5. 指定スタート時刻20分前に受け付けを済ませ、8分前には必ずティーイングエリア周辺に待機すること。

6. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

7. 決勝進出、グランドシニアは上位18名、シニアは上位30名、レディスは上位12名、一般は上位27名迄の者とする。同点の場合は、マッチング・スコアカード方式で決定する。更に同点の場合は、カウントバック方式とする。

※17:00までに、決勝進出者に欠席があれば、次点者の出場を認めるものとする。

8. 競技会を無断欠席した場合は、来年度の本主催競技の出場を停止する。

9. 欠席のあった場合は、組合せの変更をする。

エチケット・マナー

1. コース内では、危険防止のため必ず着帽すること。

2. コース内は、指定場所以外禁煙（非燃焼・加熱式たばこや電子タバコを含む。）です。

3. 入場時には上着（ブレザー・ジャケット）を着用すること。

4. プレー時は、襟付きのスポーツシャツを着用し（ハイネックのものも可ですが、Tシャツと見間違えるようなものは不可）、シャツの裾は外に出さないようにして下さい。また、タオルを肩にかけたり、首に巻きつけるような行為は、謹んで下さい。

5. 表彰式はプレー時より正装することが原則ですので、半ズボンやTシャツは謹んで下さい。